

## その十二 「古戦場公園みんなでやらんかい(会)」

### 古戦場公園再整備事業

### 市民ワークショップニュースレター



- ◆日時：令和4年10月22日【土】
- ◆場所：長久手市岩作石田地内古民家
- ◆参加者：20名
- ◆時間：午前10時から午前11時40分まで

メニュー

- 古戦場再整備事業の進捗説明
- ぞうり作りの実演及び体験  
(講師：一般社団法人長久手市観光交流協会事務局長)
- 意見交換



#### 古戦場再整備事業の進捗説明

令和4年度歴史民俗体験施設整備事業に係る予算(設計委託料)に対して市議会から意見が付されました。意見を受けて西側ゾーンに分散して整備する予定であった納屋、收藏庫及び体験施設の展示機能を1つに集約し、(仮称)歴史民俗資料館として整備し、古民家はその附帯施設とするように見直しをしました。

令和5年1月からの大河ドラマ「どうする家康」の放送を見て古戦場公園を訪れた観光客に、徳川家康ゆかりの地として、国指定史跡長久手古戦場をPRしたいと考え、築山造成工事を含む古戦場公園再整備工事のスケジュールを、令和7年度中のガイダンス施設のオープンに影響を与えない範囲で見直ししました。



#### ぞうり作りの実演及び体験

歴史民俗体験施設で想定される体験活動の一つであるわらじ作りを一般社団法人長久手市観光交流協会の角谷事務局長をお招きして、お試して行いました。

参加者からは、「初めての体験でうまくいかなかったが楽しかった」など好評でした。

また、最後に角谷事務局長から、「わらじ」と「わらぞうり」の違いについての小話があり皆さん驚かされていました。

※かかとは靴のように走れるのが「わらじ」で、スリッパのようにペタペタなのが「ぞうり」とのことです。



わらを使って作ったわらじ(左側)と浴衣生地を使ったぞうり(右側)素材を変えるだけですきな履物が作れます。



古民家を警固祭りの馬宿にしたい。/日本の5節句(人日(1月7日)、上巳(3月3日)、端午(5月5日)、七夕(7月7日)、重陽(9月9日))にちなんでイベントをやるのはどうか。/維持管理にお金がかかると思うので、お金を稼ぐ仕組み作りがあるといい。/古民家で、ぞうり作り体験をして初めて実感できた。初めて会ったお隣さんと何気ない話をしながら、手作業ができるので、こういう場所があるとすごくいいんだなと感じた。/長久手にもこういうしっかりとした古民家が残っているので、有効に使えたらいいなと思った。/初めて古民家に来たが、「百聞は一見にしかず」で来て見てよかった。/お団子を焼く姿を見たり、みんなで集まって手作業するのを実際に体験したりと、単純なことでも子どもが喜んだので新鮮でした。/年寄りばかりではいけない。若い人を巻き込むようにしないと、昔は良かったねという話で終わってしまう。/近くに大学がたくさんあるので、大学生にも入ってきてもらい、みんなが来れる施設になるといい。/古民家だからといって古いことをやる必要はない。/古戦場公園に古民家を整備するよりも、古戦場公園にある史跡などをしっかり整備してもらいたい。/古民家の経緯をもう少し詳しく聞けると思って参加したが、わらじ作りが主で残念だった。/一步古民家に足を踏み入れた際に、すごく懐かしい気持ちになった。こういう建物が残るのは素晴らしいと思うので頑張ってほしい。

などなど、たくさんのご意見ありがとうございました。

#### 意見交換の主なご意見



【お問い合わせ】  
長久手市暮らし文化部  
生涯学習課文化財係  
電話：0561-56-0627